



食品表示活用研究会 について

食品表示活用研究会
会長 天明英之

食品表示活用研究会の設立の経緯

- 2015年度 食品表示検定協会が主催で「上級合格者の会」のメンバーを対象に、食品表示の認知度のアップと作成レベルの向上を図るため「上級食品表示診断士勉強会」を実施。（全5回 20名参加）



- 来年度も継続して勉強したい。という参加者の思い。

「食品表示活用研究会」に繋がる

今年度で7年目

食品表示活用研究会の目的

本会は、協会が実施する食品表示検定試験・上級に合格した上級食品表示診断士の有志により自主的に運営され、

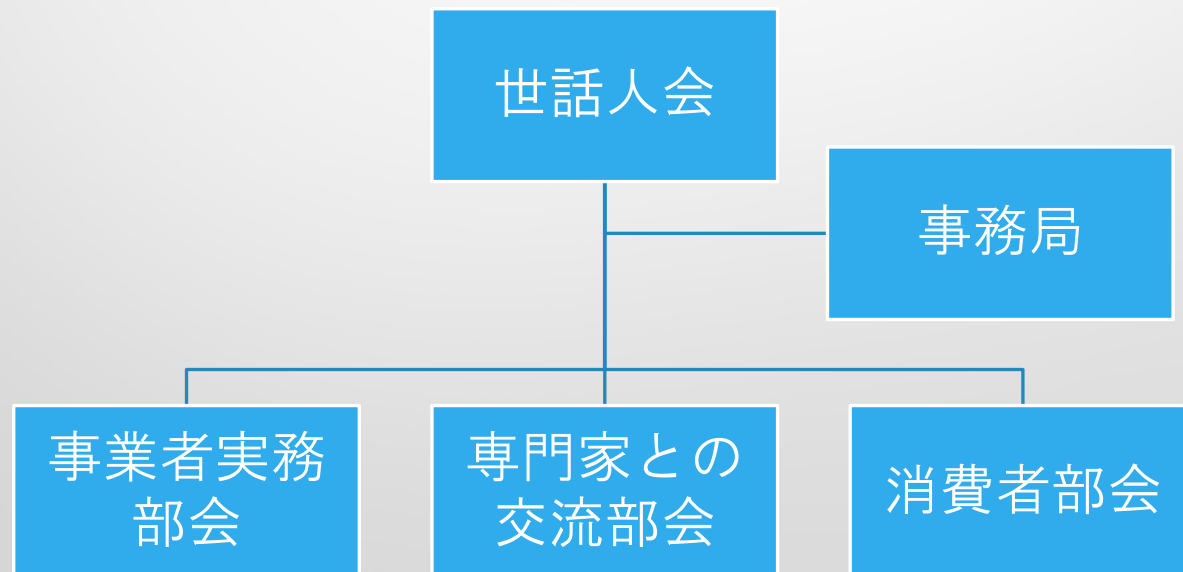
- ・ 有識者等を招いての食品表示に関する理解の向上
- ・ 会員同士の情報交換の促進による課題解決
- ・ 消費者への食品表示ルールを理解・促進
- ・ 食品表示に関する調査研究の実施

などの諸活動を通じて、会員及びその所属組織の発展を図り、もって我が国食品表示制度の円滑な運営に寄与することを目的とする。

食品表示活用研究会の活動

研究会の活動は、世話人会を中心に企画・運営を行う。会員は、毎年募集し3つの部会のいずれかに参加する部会員か、特定の部会に属さず年二回の全体活動に参加する全体会員のどちらかを選択する。3部会では担当世話人が部会活動をマネジメントする。

食品表示検定協会は事務局として研究会の活動をバックアップする。



食品表示活用研究会の年間スケジュール

4月 世話人の募集

5月 世話人会議で全体・各部会活動の内容を決定

6月 会員の募集

7月 各部会の活動開始（7月～3月）

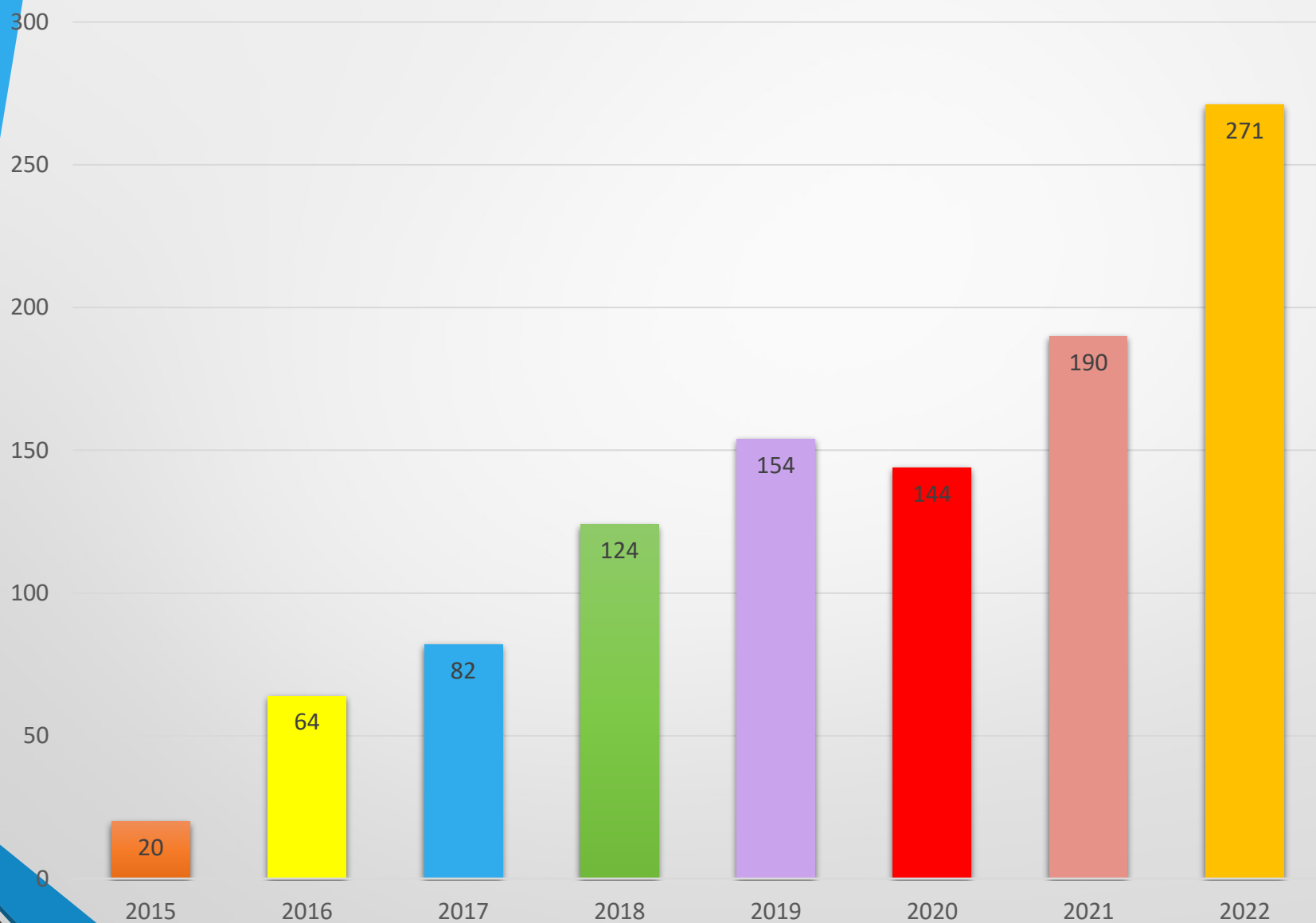
定例会を実施（3回～4回／年）

10月 消費者庁との全体意見交換会

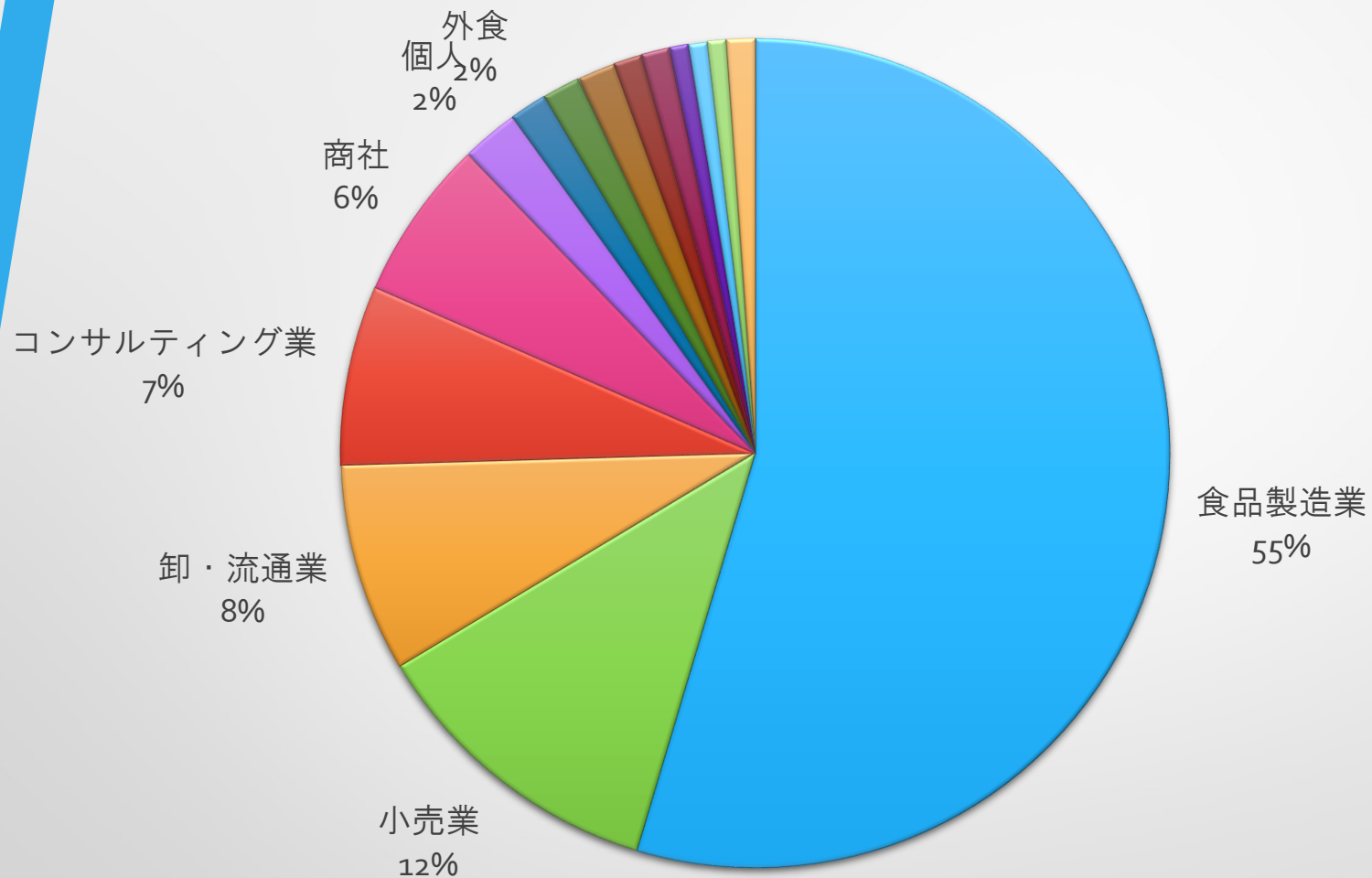
3月 3部会合同成果発表会

食品表示活用研究会の活動はコロナ禍における「集合活動のためのガイドライン」を作成し、感染防止対策を徹底した中で、集合活動＋Zoom参加を基本に実施している。

食品表示活用研究会 会員数推移



2022年度 会員の所属内訳



食品製造業

小売業

卸・流通業

コンサルティング業

商社

個人

外食

行政機関

検査機関

農林水産業

土業

教育機関

生活協同組合

その他

不明

食品表示活用研究会の世話人

氏名	所属	役割
天明 英之	フード・オフィス・天明	会長
岡本 美穂	国分グループ本社株式会社	専門家との交流部会 部会長
野口 忠司	農園『花囲夢』	専門家との交流部会
西山 麻由	マリンフーズ株式会社	専門家との交流部会
古字 朗人	SOMPOリスクマネジメント株式会社	専門家との交流部会
服部 俊秀	(株)Mizkan Partners	専門家との交流部会
北端 真美	エースコック株式会社	専門家との交流部会
大西 由美	株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所	事業者実務部会 部会長
神志 那武史	デリア食品株式会社	事業者実務部会
鈴木 美樹	日清食品ホールディングス株式会社	事業者実務部会
廣部 里栄	株式会社 おとうふ工房いしかわ	事業者実務部会
永野 裕史	ハウス食品株式会社	事業者実務部会
團 涼太	株式会社ジェイアール西日本伊勢丹	事業者実務部会
高山 大介	エスビー食品株式会社	消費者部会 部会長
中嶋 麻衣子	株式会社ゼンショーホールディングス	消費者部会
村尾 崇文	ハウス食品株式会社	消費者部会
柳澤 美智代	株式会社 明治屋	消費者部会
合川 瑞穂	(株)食料マネジメントサポート	消費者部会

事務局 (一社) 食品表示検定協会 古野 典子、豊田 正弘

食品表示活用研究会の部会

部会名	活動内容	会員数
専門家との交流部会	専門家との交流部会では、食品表示に関わる専門家の講演を通して (1) 食品表示を行う際の注意点、配慮すべき点等の実務的な内容 (2) 表示ルールの改正やその背景等広い視点にたった内容など食品表示について学ぶ場として活動しています。 事前アンケート等による質疑応答を充実させることでより具体的な理解を深め、また直接の表示ルールのみならず関わりあるテーマで講演をお願いすることにより広い視点で自分の業務の意味を見つめ直す場となるよう図っています。	126名
事業者実務部会	事業者実務部会では、食品表示業務に従事している部会メンバー講師による講演及びアンケート調査等からテーマを選定しメンバー同士で意見交換やディスカッションを通し、抱えている課題解決の一助となるべく活動しています。 内容は市場のホットな話題から法令対応の課題や好事例、食品表示に関する潜在的な課題等幅広く、また参加メンバーは国内大企業から個人事業主や、一次産業に関わる方からメーカー、流通、小売り業まで幅広いフードチェーン全体の食品表示に関わる方々の集まりとなっております。	63名
消費者部会	消費者部会では(1)食品表示ルールを理解し、生活者視点で活用するためのツール作成(2)(1)を活用した生活者や消費者団体との食品全般に関わる意見交換を通じた「生活者と事業者の協働による、より良い食品表示のあり方」を目指して活動しています。	27名

* 食品表示活用研究会の会員には部会に所属しない会員54名が含まれます。

2022年度の全体の取り組み

- 消費者庁との意見交換会（会場＋Zoom会議）

日程：2022年10月24日（月）

会場：ビジョンセンター日比谷

内容：演題1 添加物の不使用表示ガイドラインの解説

宇野真麻課長補佐

演題2 アレルギー義務表示に「くるみ」追加に向けて

宇野真麻課長補佐

演題3 食品リコール制度の現状について

宇野真麻課長補佐

表示対策課 谷口謙一課長補佐

演題4 ECサイトでの食品表示の情報提供ハンドブックの解説

松原晃係長

- 3部会合同成果発表会（会場＋Zoom会議）

日程：2023年3月24日（金）

会場：ビジョンセンター永田町

内容：①2022年度食品表示活用研究会活動報告（全体、3部会）

②消費者委員会食品表示部会長 受田浩之様の講演

③2023年度の活動の方向性

- メールマガジンの発信（4回/年）

皆さま、上級食品表示
診断士の資格を取得し、
食品表示活用研究会へ
の参加、よろしくお願
いします。